

1 | 基本的な施用方法

反当投下量	散布水量 (L/10a)	希釈倍率	1000Lタンク投入量
66g/10a×3回 (計200g/10a)	100L	1,500倍	667g
	50L	750倍	1,332g

2 | カネカペプチドの効果と施用時期

カネカペプチドは酸化型グルタチオン(GSSG)を含む肥料です。

効果

- ・光合成能を安定化させます。
- ・生育時におけるストレスを低減することで、植物の本来持つ力を引き出します。

施用時期

- ・施用時期によって効果の表れ方が異なりますので、期待する効果に合わせたタイミングでの施用をお薦めします。

□ストロン伸長期～着蕾期：**塊茎個数の増加** □開花期以降：**肥大促進**

※「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあります。危険ですから混用は避けて下さい。 ※高アルカリ性資材との混用は避けて下さい。

3 | 推奨例

早生・中生

反当投下量	希釈倍率	10a 当たり 水量	10a 当たり 施用量	6月			7月			8月		
				上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
				ストロン伸長期			着蕾期	開花始	開花盛	終花期		黄変始
66g/10a×3回 (200g/10a)	1,500倍	100L	66g				1回目	2回目	3回目			
							塊茎数増加	肥大促進	肥大促進			

中晩生

反当投下量	希釈倍率	10a 当たり 水量	10a 当たり 施用量	6月			7月			8月		
				上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
				ストロン伸長期			着蕾期	開花始	開花盛	終花期		
66g/10a×3回 (200g/10a)	1,500倍	100L	66g				1回目	2回目	3回目			
							塊茎数増加	肥大促進	肥大促進			

生産者様 圃場栽培試験結果 (2017-2018)

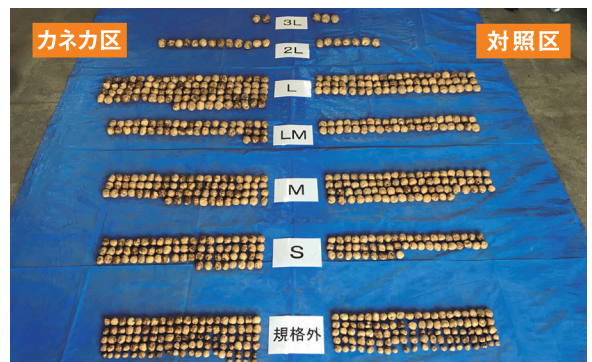
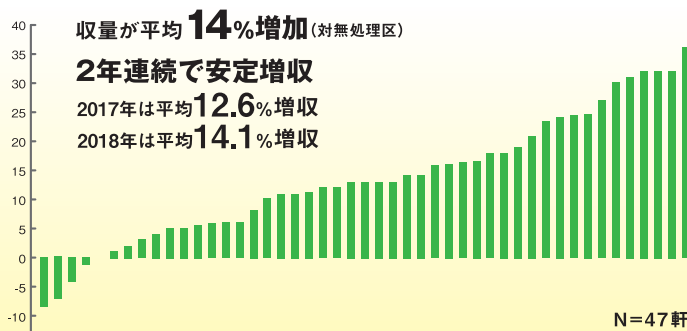


写真:収量調査結果(男爵)の一例 (2018)

※作物への効果を保証するものではありません。

カガクで
ネガイを
カナエル会社
kaneka

製造元

株式会社 カネカ
新規事業開発部 食料生産支援グループ
TEL.06-6226-5109 FAX.06-6226-4719
E-Mail: food_production_support@kn.kaneka.co.jp
URL: http://www.kaneka-gssg.com/

販売元